

(2) 研究推進・カリキュラムの工夫（大仁中学校事例）

改正学習指導要領には「学級担任の教師が行うことを原則とするが、校長や教頭などの参加、他の教師との協力的な指導などについて工夫し、道徳推進教師を中心とした指導体制を充実すること」と明記されている。本校では以下の様に授業時間割の工夫を行い、道徳の時間を分けることで担任や学年部職員がTTや参観を行い、学び合いや意見交換を行う時間を設けている。また他学年の授業を参観するなど発達段階に応じた子どもの様子について研修に役立てている。

前日までに授業準備を学年部で行い、授業の流れを大まかに話し合った後、各クラスの実態や授業者の思いを生かした発問に組み替えて当日の授業を行い、授業後参観した教師からアドバイスをもらい教師自身の授業評価とする。また、参観した教師は次時に行う自分の授業に生かし、相互参観が可能なカリキュラムを活用している。

■道徳がある水曜日の日課表（全学年同じ）

学級	水				
	1	2	3	4	5
2年主任	参観 (1-3)	授業 研究	2-4 理科	2-2 理科	2-1 理科
2-1		2-34 保体	2-1 道徳		2-3 社会
2-2		2-1 国語	2-2 道徳		2-2 国語
2-3	3-12 保体	2-34 保体		2-3 道徳	3-34 保体
2-4	2-1 英語	2-2 英語		2-4 道徳	
2外	2-4 数学		2-3 数学	2-1 数学	

参観だけでなく、TTでコーディネーターの役割を務めたり、板書やICT活用の補助を行ったりすることで、互いの質の向上にもつながっている。



■カリキュラムを生かし学年で作成している簡易指導案

道徳授業流れ	
資料名	世界に誇る日本の心
項目	17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度
主題名	日本のよき文化
ねらい	武道の精神を考えるとともに、日本人としての自覚をもって国を愛そうとする心情を育てる。
評価	・愛国心がどのような形で現れるかがわかる。 つなぐ ・自分の生活を振り返り、自分の「愛国度」を理解する。
今日のポイント	日本の文化の良さを感じながら、国を愛する心を育みたい。愛国心です！
【導入】	○オリンピックで印象に残っている種目はありますか？ ・陸上のリレー ・卓球 ・レスリング ・柔道
【資料読み聞かせ】	「世界に誇る日本の心」担任の読み聞かせ
【発問①】	練習試合が終わったあと、柔道場の掃除をしながら裕志は何を考えていただろうか ・和也と林田の試合を振り返り、お互いの礼の仕方や技が決まり終わったあとの、静けさや心地よい緊張感があるのはなぜなのか
【発問②】	山田先生の話を聞き、「よし、これから俺は本当の柔道選手になるぞ！…心の中でそっと誓った」とあるが、裕志はどんな選手になろうと誓ったのだろう。 ・相手を思いやり、敬う気持ちを常に持つ選手。 ・日本人として、世界に誇れる柔道を目指していく選手 ・日本の心を大切に柔道を目指していく選手 ○自分自身で考えてみよう（ノート上段活用）
【中心発問】	日本人として誇りとされていることや日本の良さにはどのようなものがあるだろうか。 ・礼儀 ・思いやりの心（思いやりの夏目） ・おもてなしの心 ・美しい環境を守る ・社会のルールが守れる ○自分自身で考えてみよう（ノート上段活用） ☆本当にできているのか、自分はどうかなげかけなか
【振り返り】（青色用紙）	これまでの自分を振り返り、「同じ日本人として誇れるために自分がしていくべきこと」をかこう。

【授業した学年部の反省より】

この授業は内容項目「我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度」について扱い、ねらいとして「日本人としての自覚をもって国を愛そうとする心情を育てる」とした。前半に行ったクラスでは、導入のオリンピック選手の写真を見せた場面で、価値への方向付けが明確でなかったため、参観した教師から「あの場面では実際のリオオリンピックで活躍した日本人選手のインタビューで発せられた愛国心につながる言葉を紹介すると良い」とのアドバイスを受けた。また、学級により実態が異なり、前半のクラスでは『日本の誇り=思いやり、法の遵守、礼儀』などの意見が多数出されたのに対し、後半のクラスでは『日本の誇り=美しい自然』という意見が多数を占めるなど、違いが見られた。また、実際に柔道を習っている生徒が積極的に自分の経験と重ねながら話す場面が見られ、それがきっかけとなり自分の意見に変化が見られる生徒もいた。中心発問では多面的・多角的な意見がたくさん出された授業となった。

